

大村未来都市構想(案)・大村市DX推進計画(案)に対する パブリックコメント結果公表について

	頁	意見の概要	意見に対する本市の考え方
1	12	<p>大村市DX推進計画</p> <p>大村市民に対し、「DXとは人間同士の繋がりを広く密接なものにし、より暮らしやすくするためのものであること」を分かり易く伝え、地域社会に理解していただくことが肝要である。</p> <p>また、講座や説明会等の際の資料には、大村市DX推進計画を表現したスキーム図を掲載すれば、相手に理解されやすいだろう。(例えば、大村市未来都市構想のp50の「長崎県データ連携基盤」の図などが、「誰から誰に何をどのように働きかけ、どんな成果を目指すのか」が分かり易く参考になるのではないだろうか)。</p> <p>そして、相手に伝える手法としては、身近なデジタル化の事例を紹介し、親近感を持って頂くことが有効であると考え。(私の経験による例として、以下の3つを推奨する)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①新型コロナウイルスの予防接種のオンライン予約により、いつでも予約を取れること。 ・②遠隔地に居住する孫と祖父母が、LINEアプリのビデオ通話で、お互いの表情を見て話ができること。 ・③Facebookにより、外出自粛の中であっても、新たな出会いを見つけ、趣味の共有や共感、自己の表現したいことの発信がいつでも出来ること。 	<p>頂いたご意見のとおり、DXを推進する際には目的や必要性等について市民の皆様にはわかりやすく説明するとともに、講座や説明会等で使用する資料についても身近な事例を取り入れるなど、親近感を持っていただけるようにいたします。</p>